



# はじめの一步

## 小学生の宿題事情

ほぼ毎日、学校から宿題が出されていると思います。音読や計算、漢字練習が主ですね。学年によって量に差はあるものの、『一人で取り組める』課題になっています。高学年だとプラスアルファで自主学習ノートが課されることもあります。何をやってもいいということで漢字練習をしたり、日記を書いたりこれら『一人で取り組める』課題になっているはず。これらの宿題の目的は、学力向上ではなく、習慣づけの意味合いが強いからです。

### “学ぶ”ことそのものより“学ぶ姿勢”を育てる

中学生になると毎日宿題が課されるのではなく、期日を定められてその日までに終わらせるという形式に変わります。小学生のように毎日の連絡帳で明日の宿題を提示してくれません。そうすると、もちろん出されたその日にやる子もいれば、×切前日まで放置する子もできます。一教科ならまだしも、定期試験の際には複数科目同じように出されるわけで、×切前日に慌てて動いたところでもう間に合わず…。空いた時間で少しずつ進めていくことが必要になります。

宿題を通して「家で毎日、勉強机に座る」という習慣をつけておくことは、いずれ中学生になった時に『自分で勉強する子』に育てておくために重要なことなのです。

### そうは言ってもやらないんです…(涙)

宿題に関する一番の問題は一人で取り組み始めることができるかですよね…??とりかかってしまえば10~30分でできる宿題だったりするのですが、それを始めるまでに時間がかかる。「宿題やったの?」と、毎日声掛けをする保護者様のストレスは相当なものだと思います。前回のニュースレター(vol.43)でも紹介しましたが、お子さま自身に宿題をやる時間を決めさせてあげるのがいいでしょう。いくら言ってもやらない…ということがあまりに続くようであれば、一旦放っておいてみては? 宿題を忘れた⇒授業で自分が困った…、みんなの前で注意されて恥ずかしかった…といった小さな失敗から学ぶことで、自分から宿題をやるという意識が芽生えることもあります。

### 音読だけは手を止めて聞いてあげてください!!

なんとなく…で流し読みしている時は、漢字の読み方や言葉自体の意味が分かっていない可能性があります。お子さまとのコミュニケーションツールとしても、文章の理解度チェックとしても役立ちます。句読点ごとに交代して読んだり、登場人物になり切って俳優気取りで読んだり、親子で楽しく取り組んでみませんか?どれだけ正確に速く読めるかを競争すると、集中力も養われます。教室でも授業時には、教科問わず音読を聞かせてもらっています。



## ごあいさつ

こんにちわ

ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。地域密着にて地域ナンバー1の塾を目指しております。地域密着なので、近隣の小・中学生が自分の目標に向かって前向きに自分のための勉強をしていけるよう・保護者様がそんな子どもの姿を見て安心してもらえるように学習面において『少しでも力になれたら…』と思い、このように教育情報をお配りしております。子どもたちが自分に自信を持って、普段の生活を送れるようになるのもっともっと元気で活気のある子どもがこの地にも増えてくると信じています!

小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことこそ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。